

Title	教區設定百年記念 朝鮮天主教史料展覽目錄(京城天主公會發行, 非賣品)
Sub Title	
Author	吉田, 小五郎(Yoshida, Kogoro)
Publisher	三田史学会
Publication year	1931
Jtitle	史学 Vol.10, No.4 (1931. 12) ,p.148(702)- 148(702)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19311200-0149

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ある形跡が十分認められる。このことが單なる西洋模倣萬能の歐化主義でなかつた證據である。況んや文學、思想、法政の如き吾人の一層大なる關心事に關しては、此が輸入に方つて、非常なる用意と準備とを要したことは當然であつた。兎に角本書の各史實に對する評論の適否については今別として編纂著者の技術と見識とに對しては謹んで敬意を表せざるを得ない。今一讀後の感想を述べんとして餘り簡單に失して十分當初の本意を達し得なかつた點は特に了せんことを切望する。(山本光郎)

教區設定朝鮮天主教史料展覽目錄

(京城天主教會發行)
非賣品

日本に於ける天主教の歴史は、支那のそれに稍々先んじてゐる。(唐代に於ける異教傳來については今暫くいはぬとして)。而して日本支那の間に介在する朝鮮に於ける天主教の傳來は更におくられた。而も朝鮮のそれは、不思議にも、地續きなる支那から傳はらずして、一葦帶水を距てた日本から傳はつた。朝鮮の役を契機としてセスペデスの渡鮮が發端をなしたのである。爾來、天主教を介して日鮮の間に信仰上の深い交りがあつたやうである。殊に日本に於ける鮮人捕虜は當然その哀れなる運命から、人類の平等を説く天主教にすがり、その信仰は以外に堅く、井上筑後守をして「朝鮮人吉利支丹ニ勸メ被入候而ハ、男女トモニヲモヒ入深ク、コトニ女聞入候ヘバ思入深ク候事」と述懐させてゐるほどで、屢々の殉教にも毎度朝鮮人の名が見える。又燒物師の五郎八が切支丹で

あつたを傳へられるが、鮮人捕虜が主に従事した陶器師の方にこの關係を求めたら面白からうと自分は日頃考へてゐる。

それにつけても、日本の切支丹史が段々研究されて明瞭になつて行くと共に、朝鮮のそれが之と並行して鮮明になつて行くことは願はしい事である。近時、青丘學會發行的「青丘學叢」に毎度朝鮮の天主教史に關する研究を發表されつゝあるが、こゝに紹介する展觀目錄は、京城天主教會の布教百年紀念に際し青丘學會の後援を得て去る九月二十六、七の兩日同教會にて展觀された布教、殉難、迫害に三大別して擇ばれた三十三種の文献及びその參考資料、並に往來教徒の熱烈なる信仰の遺蹟を偲ぶべき遺物五種、計三十八點の目錄である。勿論布教百年紀念である通り十九世紀に入つてからの布教、迫害事實に關するものが主であるが、我々その方面に暗き者にまつては、單に書名を知るだけでも教へられるところが多い。

この目錄は本「史學」發行所に數十部、寄贈されてあるから、希望者には多分分けて貰へると思ふ。(吉田小五郎)

土御門天皇と御遺蹟

(武田勝藏著)
御所神社奉讚會發行

本書は本年十一月十三日は、土御門天皇七百年の式年祭に當るを以て、天皇の御遺徳並に御遺蹟を顯彰し奉るため徳島縣板野郡御所村行宮址の御所神社奉讚會の委嘱により編纂せられたるものである。次に内容を紹介し、著者並に奉讚會の勞に報いたいと思ふ。